

(平成 30 年 7 月試験研究業務月報)

試験研究課題：定置網漁業におけるクロマグロ小型魚の漁獲抑制に対応した改良網に開発

研 究

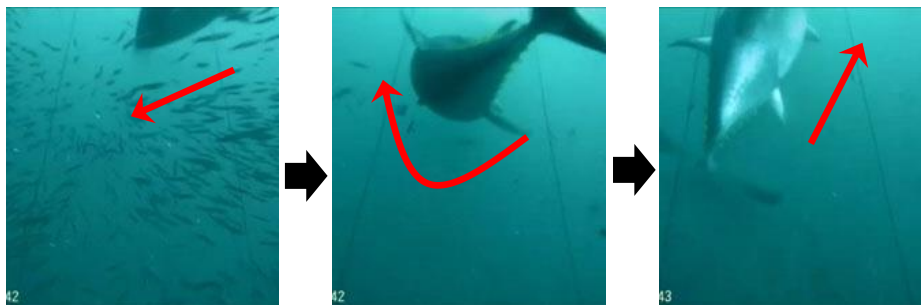
網に対するクロマグロの行動を把握

クロマグロは絶滅が危惧されており、我が国には国際合意に基づく厳しい漁獲量制限が設定されました。そこで当センターでは、定置網に入った小型魚をブリ等の他の漁獲物と分離して効率的に海へ逃がすための漁具改良試験に取り組んでいます。

定置網内での行動を水中カメラ等で観察したところ、クロマグロはブリ等と比べて上層を泳ぎ、網に遭遇した際にはさらに上方に向かうことが確認できたことから、遊泳行動の違いを利用した分離が可能であると考えられました。

これらの結果を、7 月 13 日に伊根町において開催した漁業会社、漁網会社、(国研) 水産工学研究所等との検討会で発表し、情報を共有しました。

今後は漁具の改良に取り組み、クロマグロの保護を目指していきます。



網に遭遇

上方に方向転換

上方に遊泳

定置網の中で網に遭遇したクロマグロの行動 (水中カメラの映像)